

(様式1)

令和4年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 033	提案機関名 畜産課
要望問題名 動物福祉等への本県の対応策についての検討	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 【背景】 外庄としての動物福祉、国内での動物福祉への注目が集まる中、本県の畜産を維持・存続させるため、動物福祉についての対応にも取り組んでいく必要があると考える。 【内容】 牛・豚・鶏などの家畜毎に問題になっている動物福祉に関する事項を整理し、ソフト面・ハード面で取組んでいける優良事例を調査し、県内で対応可能な事例を畜産技術センターで導入し、費用対効果などと併せて検討する。	
解決希望年限	<input checked="" type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input type="checkbox"/> ①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画指導部企画研究課
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 国産エンリッチドケージによる飼養管理技術の確立（平成30～令和4年度）		
対応の内容等	アニマルウェルフェア（AW）は、快適性に配慮した家畜の飼養管理と定義され、（公社）畜産技術協会が各畜種ごとに家畜が快適に過ごすための飼養管理指針を示しています。 当所では、ソフト面において対応可能な項目については、すでに指針に沿った対応を実施しています。ハード面では、採卵鶏において、EU基準に準じて試作した国産エンリッチドケージの特性について調査する試験を実施しています。 畜産技術協会が示している飼養管理指針は、国内の家畜の飼養管理状況を踏まえたものとなっており、生産者ごとにすでに指針に沿った対応をしていると考えます。今後、県内の優良事例の情報収集する際には協力いたします。		
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			